

2024年9月24日
旭川地区バスケットボール協会 U12部会
技術普及委員長 数村 勇樹
(文責 田中 一也)

2024年度 夏期大会 総評

GOOD (よかった, 続けてほしいことなど)

〈オフェンス〉

- ・ボールマンディフェンスとの距離を見て判断し、ディフェンスが離れていたならシュートを選択できるようになってきた。
- ・ダブルチームが起こったときに、DFのズレ(ノーマーク)を見つけ、そこを上手くついてOFをするケースが増えた。
- ・接戦の試合展開の中でも、冷静に状況判断をし、チーム一丸となって戦っていた。
- ・トランジションが早くなり、攻撃回数が増えていた。

〈ディフェンス〉

- ・ボールマンに対するマンツーマンDFは、1人で守り切れることや、2線目でシャットできることが増えてきた。
- ・ローテーションが人と危険箇所の両方を意識できるようになってきた。

BAD (課題など)

〈オフェンス〉

- ・スペースのないところにドライブし、1対2の状態ボールを失ってしまう場面が見られた。
- ・2線目がシャットする機会が増えたため、フロントチェンジがDFに引っかかるケースが多かった。
- ・セーフティがいなく、速攻で得点となるケースが多く見られた。

〈ディフェンス〉

- ・今後もさらにDF力を強化し、1人で守り切る意識を高めていくことを期待したい。
- ・人と危険箇所の両方への意識は感じられたが、その場にステイしてしまうなど再度マッチアップについては不十分であった。

NEXT (今後に向けての改善点など)

- ・ケガのしにくい姿勢や習慣作りに努めるとよい。
- ・ドリブルからのアタックだけではなく、パス回しと大きいミートでディフェンスをずらして、1対0の瞬間を作ってアタックしていきたい。
- ・必要に応じてレッグスルー、ビハインドなどDFからボールを守りながら安全にチェンジ&突破できるスキルを身に付けたい。
- ・ダブルチームからローテーションしてマッチアップし直す意識をもっと高めたい。ボールマンDFはOFのドリブル、パス、シュートを制限することが目的であるから、ダブルチームが破られた(キックアウトなど)時には、コミュニケーションをしっかりとってマッチアップし、ボールにもしっかりと出る意識を高めたい。(その場にステイするのは旗の対象になります。)

最後に選手権大会まで残り2ヶ月を切りました。選手権大会は冬の全道へ繋がる大会ですが、勝利だけを目標とせず、選手1人1人がそれぞれの目標に向かってバスケットボールに取り組んでほしいと思います。季節の変わり目で体調を崩しやすい時期です。睡眠、食事など、体調管理には十分気をつけて、心と体の準備をし、悔いのないように準備をしてほしいと思います。

以上、今大会の総評とさせていただきます。